

大学名 東京外国語大学

第59号テーマ
「ニューノーマル時代の大学」

表題 国内外に向けた37言語のオンライン講座をスタート！

特色ある取組

東京外国語大学は、外国語・外国研究の特色を活かした学習の場として「TUFSオープンアカデミー」を2006年から開講し、広く大学生や社会人に語学や教養の講座を提供してきた。2019年度末までの受講者数は、延べ2万人以上に上っている。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年度春学期は休講となったが、全講義をオンラインに移行、昨年11月に新スタートを切った。

2020年度秋期間は、37言語のレベル別語学講座や世界の理解を深める教養講座など計120講座をオンラインで実施し、延べ2,241名が受講している。オンライン化に伴い、従来の教室型では受講できなかった首都圏外や海外からの受講者も多い。2021年度春期間は、45言語の語学講座など150講座を開講予定。アムハラ語、ウクライナ語、チベット語、ポーランド語など、日本国内ではなかなか学習の機会がない講座も多数提供する。

オンライン講座は、ビデオ会議ツール「Zoom」を使用し、リアルタイムで配信。資料の受け渡しや講師からの連絡などには「Google Classroom」を使用し、受講者の学習をサポートする。(480字)

期待できる成果・評価 など

コロナウイルス感染症の拡大を受けて広がった教育のオンライン化は、大学教育のみならず、大学の行う社会貢献事業も大きく変えていく。東京外国語大学は、これまでも多言語多文化化する日本に必要な言語教育・異文化理解教育を社会人向け講座の形で提供してきたが、オンライン化により、その裾野は日本全国に広がった。外国人労働者の受け入れなどに伴い、日本のどこにいても、様々な言語、異文化や異なる価値観に対する理解が求められる現在、こうした学習の機会を必要としている人々、現場は数多い。2020年度の秋学期から始まったオンライン講座への反響は大きく、さらに多様な言語、文化講座への要請も高まっている。その期待に応え2021年以後、事業をさらに拡大していく予定である。(323文字)

アムハラ語 広東語 スワヒリ語 ブルガリア語 タイ語 ウルドゥー語
アラビア語 カンボジア語 スペイン語 ルーマニア語 マレー語
朝鮮語 ポルトガル語 中国語 エスペラント語 ハンガリー語 教養
ポーランド語 ネパール語 イタリア語 チベット語 ベンガル語 キルギス語 サンスクリット語
モンゴル語 フィンランド語 オランダ語 東アルメニア語
ベトナム語 ヒンディー語 フランス語 スロヴェニア語

ウクライナ語
クルド語
バスク語
ドイツ語
ロシア語

オンラインで
ご自宅から
遠方から

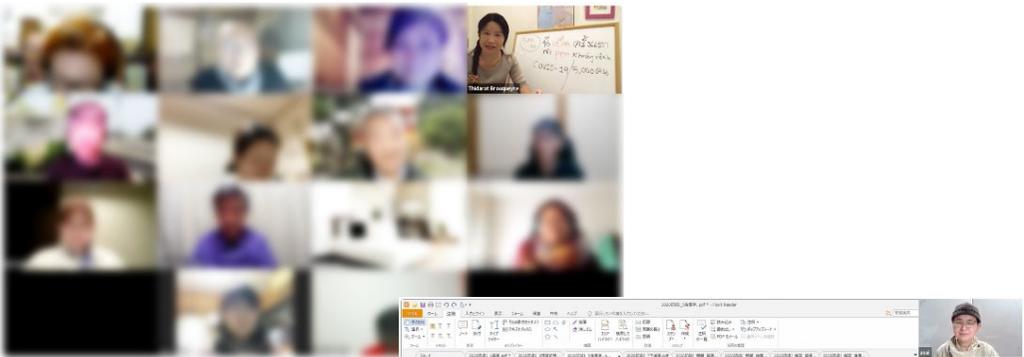
TUFS
オープンアカデミー

新たな学びの様式
ONLINE

秋期間オンライン講座 受講者募集!

120講座 37言語+教養

詳細はこちらをクリック



(左上) タイ人ネイティブ講師によるタイ語中級会話クラス
(右下) チベット語初級クラス

